

# G

# GOVERNOR's

## Monthly Letter



Rotary  
International  
District 2800  
2013-2014

ガバナー月信



「家族」



District Governor  
**2800**  
2013-2014

国際ロータリー第2800地区【2013-2014年度】

ガバナー 新関 彌一郎 RI会長 ロン D. バートン  
RI理事 松宮 剛 RI理事 北 清治



鶴岡RC訪問（8月6日）

# 「山形道・ 公式訪問

7月9日から始まった公式訪問も、今、原稿を書いている9月15日現在で33クラブが終わりました。志田地区幹事との「山形道・五十一次 珍道中」と宣言して始まったのがついこの間のように感じます。あっという間です。

クラブ訪問を始めて、最初に感じたことは、少人数クラブが予想以上に元気なクラブであることでした。少人数ながらしっかりと運営されている。自分たちのロータリーを楽しんでいるということがわかり安堵しました。

この2800地区は会員25人以下のクラブが45%あります。今年度はそうしたクラブの組織、運営などを考え、さらに会員増強へと結び付けたいと考え、「クラブ25」という小委員会を作りました。地区組織もグループ制にしてセミナーなどに参加しやすい体制をとりましたが、そのセミナーの参加者数も、毎回予想を超え大変うれしく感じております。

また、少人数クラブはこの「25」という数字を意識し、会員増強の目標にしてくれていました。実際、25人まで届かないとしても、2人、3人と増えるだけで力強いクラブとなることは間違いありません。さらに、今年度中に25人以下のクラブを対象とした勉強会を実施したいと考えていますので、期待は膨らむばかりです。

公式訪問で私はガバナーとして、基本的なことではありますが、例会の出席の大切さや、メイクの重要性をお話しています。出席率稼ぎのサインで済ませるような偽メイクは、私は大反対ですし、なくして欲しいと皆さんに訴えています。クラブを訪ねてそのクラブの例会を体験し、皆さんとお話をし、学ぶことこそが真のメイクであり、その学びを体験して得たものを、自分のクラブに、自分の職業に生かしていくことこそが、ロータリアンにとって一番大切なことなのではないかと思えます。

また今年度は、訪問例会前に会長・幹事会を開いています。ガバナーとして指導をするというよりは、どのようにすればクラブがさらに良くなるのか、有意義なロータリークラブライフがいかにかいたら送れるのかを会長・幹事と語り合うことを重要視しています。クラブによっては、会長エレクト、次期幹事も参加され、真剣な質疑応答が展開される場面が多くあります。

特に、今年度は、ロータリー財団の「未来の夢計画」の初年度で、地区補助金、グローバル補助金についての質問が多くありました。同行している志田地区幹事に、その場で、手続上の具体的な話をし

# 五十一次」 に思うこと

2013-2014年度 ガバナー 新関彌一郎

てもらうことは、会長エレクト、次期幹事に大いに参考になっていることと思います。

さらに、今年の4月に規定審議会があり、多くの変更がありました。私も、5番目の奉仕部門・新世代奉仕が青少年奉仕に置き換わることや、職業分類に主婦が加わったことなど規定審議会の変更点をお話してきていますが、これも手続要覧の2013年度版発行（今年12月か翌年1月）を待って、それぞれのクラブの定款、細則を改訂する必要があり、地区幹事から改訂についての追加説明がなされ大変有効な時間となっています。

当初、公式訪問に地区幹事が同行することに対し「代表権者が二人、事務所を留守にするのは如何なものか」と危惧される方もいらしたようでしたが、私は、かえって地区幹事と二人でクラブを訪問し、会長・幹事会に臨めることはとても効果的で良かったと思っています。

最後に、現在、「一人がひとり」の会員増強運動を展開しています。2800地区内の知人、親戚、仕事仲間など、ロータリアンにふさわしいと思われる人を紹介し合う運動です。一人がひとりということで、地区会員1600人が紹介すれば1600人の会員候補者が現れます。目標は、10%、160人の会員増加です。地区内ロータリアンの皆さん、ご協力のほど、よろしくお願い致します。



山形イブニングRCでの会食



白鷹RCの会長・幹事会



河北RC例会での握手会



## 10月は米山月間です。

米山奨学委員会

委員長 松村 澄男(天童)

皆さんこんにちは、米山奨学委員会の松村です。今年で2年目に入りました。

10月は米山月間です。RCでは同じく10月が職業奉仕月間ということで、各クラブとも職業奉仕プログラムを例会卓話に取り入れておられると思いますが、是非米山奨学事業に関するプログラムも取り入れていただきたいと思います。具体的には、米山奨学生や米山学友又は地区米山奨学委員からの卓話を例会でやっていただくことです。去年は最終的には15クラブから卓話の依頼を受けましたが、今年は8月末現在5クラブに留まっています。2800地区がどんなに素晴らしい奨学生を支援しているか、奨学生が自分の国の話、学んでいる研究テーマ、RC会員との交流や感謝の気持ちなどの卓話を聞いていただきたいと思います。また、2800地区米山学友会の素晴らしい活動も聞いてください。学友会総会、懇親会、コンサート（ハイライトよねやま155参照）、フェスティバルそして先日の山大バスケットボール部を率いて国際大会出場など、学友会の皆さんが中心になって活動しています。今年2月に米山梅吉記念館訪問を学友会との共催で行いました。8月には尤学友会会長を中心に、台湾学友会との交流会や台湾民生RCでのメイクアップなども行いました。これらの活動報告から、米山奨学事業を理解していただき、米山奨学委員会の委員からは現在の寄付金の状況などをお話させていただきます。米山月間に限らず、何時でも皆さんからの卓話要請にお応えしてまいりますので、G事務所又は米山奨学委員会にご連絡下さい。

次に皆さんに嬉しいお知らせがあります。一つ目は尤学友会会長が米山奨学会のよねやま親善大使に選ばれたのはご存知のことと思います。全国77人の応募があり、その中の2人に選ばれました。設立して日の浅い2800地区学友会からよねやま親善大使が選ばれたことは、これまで温かく支援していただいた関係者やロータリアンの皆様のおかげとっております。詳しくはハイライトよねやま157号をご覧ください。

ください。二つ目は山形北RCが世話クラブをしたジャンチブ・ガルバドラッハ氏が今年度国際貢献に顕著な実績（日本とモンゴルとの相互理解の促進）があったとして、7月31日に外務大臣表彰を頂きました。

最後に、昨今の中国や韓国との関係が緊張していますが、その為に中国や韓国からの留学生に何故奨学金を与えなければならないのか、という議論が聞かれます。確かに今の時代を考えると緊張状態になっていますが、長い歴史の中で見たときに、私たちが協力し合わなければならない隣国に対して、今の私たちが市民レベルで反目しても良いのでしょうか。今反目すれば、私たちの子供や孫の時代に本当の幸せをプレゼントすることが出来るのでしょうか。ソウル在住の元奨学生の李さんから米山奨学会に寄付、韓国の駐日大使に二人目の学友として権哲賢氏が就任など、ロータリーの平和を願う種は着実に育っています。是非今年度のロータリーの友3月号に寄稿した金紅蘭さん（世話クラブ鶴岡RC）「ありがとう、ロータリアン」を読んでみてください。

### 「ハイライトよねやま162」より

#### 寄付金速報～10月の米山月間に向けて～

8月までの寄付金は前年同期に比べ1.7%増（普通寄付金1.6%増、特別寄付金1.9%増）、約480万円の増加となりました。大口寄付金の方をはじめ、多くのロータリアンの方々からのご寄付に感謝申し上げます。

10月は米山月間です。米山へのご寄付は確定申告の際に「所得控除」もしくは「税額控除」のどちらか有利な方式を選択することができます。さらに、普通寄付金分もクラブ事務局から会員氏名等のデータをお送りいただければ、申告用領収書を送付いたします。申請方法は当会ホームページをご覧ください。今後とも引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会



# 職業奉仕月間にちなんで

パスト・ガバナー

クラブ奉仕グループ・カウンセラー 塚原 初男(鶴岡)

2010年手続要覧によると、職業奉仕の記載は僅か3ページに過ぎない。その記載内容もさることながら、鈴木一作（寒河江）地区職業奉仕委員長の解説は、何度伺っても、その度ごとに内容が豊富で、実に解り易い。

去る8月29日、鶴岡南クラブのホスト役で自クラブと合同の職業奉仕フォーラムが開催された。当日伺った鈴木委員長の「職業奉仕の森」と「ロータリアンの木」によって、筆者の「職業奉仕とは何か？」という長年のもやもやは、完全に払拭されたと言っても過言ではない。

森にはいろいろな樹種があることから、言い換えることをお許し戴けるならば、鈴木委員長の「職業奉仕の森」は、次の6つの樹種から成り立っているとも言えよう。それは、①尊敬と信頼を得る職業倫理を確立すること、②社会に奉仕する職業にすること、③継続的職業利益のための人間関係を確立すること、④顧客獲得のための最善経営方法を確立すること、⑤自分の職業を天職と言えるよう高潔にすること、⑥職業人として社会に奉仕すること、の6樹種である。そして、これらの6樹種は、時代の変遷と共に順次森の中に誕生し充実して来た内容である。また、上述の①～⑤は職業活動による職業奉仕であり、⑥は職業活動以外の活動による職業奉仕として2大別出来る。更に、⑥の職業人を拡大解釈して、この中に、例えば筆者のような既にリタイアした元職業人や、2013年規定審議会で新しく会員資格を持つこととなったロータリア

ンの職業支援配偶者などが含まれると考えれば、この森は全ロータリアンが職業奉仕の実践機会を有する森になるのだが・・・。

以上のように多様で豊富な内容を持つ職業奉仕は、会員になったあらゆるロータリアンに課せられた個人的な義務とされている（ロータリー情報マニュアル2010）。

毎年10月は、職業奉仕月間と定められ、上述のような職業奉仕理解も大切であるが、職業奉仕の実践活動をはじめ、ロータリアン各自の実践活動に参考となる地区レベルやクラブレベルでの実践活動や事例紹介も大切である。

前掲の手続要覧によると、この月間中に奨励されているクラブの活動には、以下の事項が掲載されている（ロータリー章典8.030.3）。

- a. 地区レベルの行事でのロータリー・ボランティア表彰
- b. 異業種間の交流機会となるロータリー親睦活動への参加推進
- c. 職業奉仕活動の実践または職業奉仕プロジェクトの提唱
- d. 空席職業分類への会員入会促進

今年度は、鈴木委員長ご自身及び職業奉仕委員会委員の職業活動による職業奉仕機会を損なわない範囲内で、クラブ或いは複数クラブレベルでの職業奉仕フォーラムが開催されるよう、再度お奨めさせて頂きたい。そして、職業奉仕理解の深化が図られ、各自の職業奉仕活動が尚一層進展されるよう、心から願っている。

### 「ロータリー情報・職業奉仕 合同セミナー報告」



地区職業奉仕委員会  
委員長 鈴木 一作(寒河江)

平成25年9月1日(日)、天童市の市民文化会館で「ロータリー情報・職業奉仕合同セミナー」が開かれました。

今回のセミナーの目的は、①ロータリー情報については、『決議23-34を正しく理解する機会となること』、②職業奉仕については、『職業奉仕理念の歴史の変遷を正しく理解する機会となること』、③各クラブにおいて、『フォーラム形式の職業奉仕例会が、今後ますます盛んになること』の3つです。この3つをなぜセミナーの目的に据えたかについて、少し述べさせていただきます。

「決議23-34は大事だ」と言うロータリアンは多いものの、その意義や内容をよく知らない人や誤解している人が少なからずいるようです。それについてロータリー情報小委員会の高橋寛人委員長と話し合ったところ、「1905年のロータリー誕生から1923年に至る歴史の中で、『親睦と実業互恵』から『社会奉仕と職業奉仕』の考え方がどのように生まれ発展してきたか、また矛盾と対立の中で成就した決議23-34の意義とはなにかについて知っておくことは、ロータリーを正しく理解するためには大切である」という認識で一致いたしました。しかも、「ロータリーの歴史と職業奉仕の理解増進」は、本年度の地区重点スローガンの1つでもあります。

一方、全国的には「忘れられた職業奉仕」という言葉をよく耳にします。実際、職業奉仕フォーラムの例会が不十分だったり、または開催されなかったりなどの話も聞かれます。さらに、最近では職業奉仕だけでなく、クラブ奉仕や社会奉仕に関するフォーラムも、おざなりにされる傾向があるそうです。こうした点についても、「例会でのフォーラムの重要性を再認識し、フォーラムが活発になるよう働きかけていく」ことで、高橋委員長と意見が一致いたしました。

以上より、前述の①②を基調講演のテーマとし、③についてはセミナーそのものを「基調講演—テーブルディスカッション—発表会」というフォーラム形式で行うことになりました。

当日は地区副幹事の原田正夫氏の司会進行のもと、開会挨拶では、新関彌一郎ガバナーが「ロータリーの歴史と職業奉仕の理解増進」の大切さを語っていただきました。

その後、小生が「知っておきたい「ロータリーの職業奉仕と社会奉仕の歴史」と題した基調講演をさせていただきました。その詳しい内容については紙面の関係で割愛しますが、参加された皆様の知識の再整理や得心につながったとすれば、この上ない喜びです。

基調講演終了後は、「私が考える職業奉仕、私が実行している職業奉仕」というテーマで、テーブル毎に各10名程度のグループディスカッションを行いました。その後、各テーブル代表者(地区委員)から、話し合った内容を壇上で発表していただきましたが、経験豊かでプロ意識の強い

ロータリアンが集まったの話し合いだけあって、その含蓄ある内容は職業奉仕の真髄を突いたものばかりでした。

その後、クラブ奉仕グループ塚原初男カウンセラーから講評をいただき、「本日のセミナーの内容を各クラブのメンバーに伝えるとともに、フォーラム形式の例会行事が盛んになるように」とのことでした。

最後に新関ガバナーから、「ロータリーについて互いに胸襟を開いて話し合うことは、互いのロータリー知識が深まるだけでなく、親愛や敬愛の情も湧き、まさにロータリーらしい活動である」という感想をいただき、セミナーが終わりました。

### 鶴岡南RC&鶴岡RC合同「職業奉仕フォーラム」

～鈴木一作地区職業奉仕  
委員長を迎えて～



鶴岡ロータリークラブ  
会長 嶺岸 禮三

8月29日、鶴岡市国際村研修室で標記フォーラムを開催しました。7月7日の地区フォーラムで鈴木委員長の話に刺激を受けた鶴岡クラブでは、委員長を迎えて職業奉仕フォーラムをやりたいと考えました。第一回のクラブ協議会でこの案を佐藤友行委員長が発表したところ、同席していた恩田第2ブロックガバナー補佐から鶴岡南クラブがすでに超多忙の鈴木委員長を抑えてあるので合同で開催してはどうかという提案を頂き、とんとん拍子で話がまとまり、合同フォーラムを開催する運びとなりました。

当日は両クラブ合わせて40名ほどの会員が集まり、始めに鈴木委員長から「ロータリーの綱領と職業奉仕の歴史」という題で基調講演を頂きました。私(筆者)はロータリー歴25年ほどで、これまで何度か職業奉仕に関する講演を聞きましたが、鈴木委員長の解説ほどわかりやすい「職業奉仕論」は初めてでした。それは「職業奉仕」の歴史の変遷を綱領とそれに関わった主要人物とを紹介しながら解説された点にあると思います。

冒頭の委員長の言葉です。「職業奉仕は難しい。人によって語る内容が違う。シェルドンの顧客満足度、和田直前ガバナーは職業倫理を強調、天童の野川パストガバナーは職業倫理訓。話を聞けば聞くほど分からなくなる。こういう立場を頂いて改めて自分なりに勉強しなすと、成程こう考えればいいのかというところに行き着いた。今日の話が皆さんの職業奉仕について学んできたことの再整理につながれば幸いです。」そして、「結論を言うと、職業奉仕は大木ではなく、森だと考えるとかなりよく分かってくる。森にはいろんな木が生えている。職業奉仕の森には、職業倫理の木、シェルドンの奉仕の理想の木、職業は天職だという木、職業人としての社会奉仕の木、森だからいろんなところに木々群がある。どれも正しいし、どれか一つを取って職業奉仕だという訳でもない。すべてを含んでいると考えれば、どんな人の話を聞いてもストンと胸に落ちていくのかなと思います。」

続いて綱領の解説に進み、「1951年から今の綱領が使われている。Objects of RotaryがObject of Rotaryになったた

め、最初にある奉仕の理想を謳ったものが本文で、その下にある4つは付随項目であるという考え方が定着。2013年に日本語訳が変わったが、英語版は1951年のまま。本文は奉仕の理想を示し、第2項目『事業及び専門職務の道徳的水準を高めること』これは職業倫理、『あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること』は天職から来ている。『ロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕する』これは、職業は社会への奉仕という考え方。『その業務を品位あらしめること』は職業倫理。綱領には①奉仕の理想、②職業倫理、③天職、④社会への奉仕という四つの考えが盛り込まれています。」綱領の第2項目はまさに“職業奉仕の森”そのものだと言われ、ここから1905年のロータリーの創設時から1951年の現在に至るまで、綱領の中にどのように「職業奉仕」の思想が表現されてきたのか、シェルドンやガイ・ガンディカーといったその当時ロータリーに最も影響を与えた人物を紹介しながら紐解いていきました。思想史としても人間ドラマとしても興味深い話でした。

最近の“森”で勢いのあるのは「職業人としての社会奉仕」という木で、この立場では、心あるロータリアンが行う社会的行為は、全て職業奉仕であるとのこと。例として、大工さんが、顧客の注文に応じて、良い家を建てるのも、公園にベンチを作って市に寄付するのも、学校で、児童に工作指導するのもこれみな職業奉仕。

鈴木委員長は最後に「奉仕の理想とは、thoughtfulness（思いやり）、helpfulness（助力）。ロータリーの中で奉仕の機会としていろんな人と知り合いになって、友情を深め合って、いろいろ学んで根を張りなさいということ。奉仕をする心の醸成、綱領の第2天職、職業倫理を謳っているところではまずロータリー精神と職業倫理を確立し立派な職業人になる、これが幹だと思っています。綱領の第3、個人生活、社会生活、事業生活、第4、国際奉仕を述べています。第1第2で心を学び、第3第4で実践する。そしてそこで学んだことをクラブに持ち帰ってまた切磋琢磨しながら共有してさらに立派な職業人になっていきなさいというふうに考えると一番わかりやすいのかなと思います。」と締めくくりました。

その後グループディスカッション、テーブル発表があり、面白い話も出ましたが、参加者は口々に大変わかりやすかった、勉強になったと話していました。職業奉仕の森から気に入った木を見つけ、挿し木して自分なりの木に育て、それを森に植えて森を豊かにしていく、そんな事を考えた

職業フォーラムでした。鈴木委員長に深謝して会を閉じました。

## ロータリー情報・職業奉仕合同セミナー報告 ～私達ロータリアンが深め実践すべきこと～

秋の気配を感じる9月1日、天童市市民文化会館を会場に、午後1時から開催された。

本日のテーマは、ロータリーにとって最重要理念である「職業奉仕」について、歴史的側面からと、自分自身の側からの両サイドから追求し、研修をするものであった。出席者全員による「グループディスカッション」は、自分の職業を“社会奉仕”としてふさわしいものにしてゆく実践的取り組みの端緒となった。

(1) 新関ガバナーはご挨拶の中で、自らの職業（薬剤師）にも触れて

「・・特にバブル崩壊後の医療は待ち時間3時間、診療3分という異常な状況だ。患者と医師が十分な話し合いの時間をもっていない」という相談を患者から受けたことがある。「職業奉仕」という視点からすると、これでよい訳がない。日本のロータリーでは、特に職業奉仕を重要視しているのだから、本日は自分自身のテーマとして十分に考えて頂きたい。と話された。

(2) 基調講演タイトル「知っておきたい“ロータリーの職業奉仕と社会奉仕の歴史”

講師は、鈴木一作氏（職業奉仕委員長・寒河江ロータリークラブ・医師）。シカゴで発足したロータリークラブが、自分だけの親睦と利益追求を止めて、地域への奉仕、社会奉仕団体へ変貌し、全米に浸透。やがて全世界に拡大してゆく過程を図解とスクリーンを使い、歴史的に詳細説明。奉仕の精神の実践の重要性についても講演された。

(3) グループディスカッションについて

各テーブル10名で16テーブルに分かれ「私にとっての職業奉仕」について、真剣にディスカッションを行い、リーダーがそれをまとめて成果発表した。各自が抱える問題点が浮き彫りにされた。

最後に、クラブ奉仕グループカウンセラーの塚原初男PGは、「職業奉仕は同時に社会奉仕でもある。「地域」はロータリーの奉仕のためにある。この考えを各クラブに持ち帰って頂きたい」と話された。

新関ガバナーは、最後のご挨拶で“各人の奉仕について、自宅に帰ってからも復唱して欲しい。それで今回のセミナーは完結します”と結ばれた。全メンバーが学生のような姿勢で、純粹かつ情熱をもって取り組んだ素晴らしいセミナーであった。

ガバナー月信 副編集長 増川 誠

## 小国ロータリークラブ創立40周年



2013年9月14日（土）小国ロータリークラブでは、小国温泉松風館において創立40周年記念式典を開催させていただきました。

当日は町内外から多くのご来賓の方々、新関弥一郎ガバナーを始めとする多くのロータリアンの皆様、友好クラブである新湊中央ロータリークラブの皆様ほか、多数のご臨席を賜りました。

第1部の記念式典に引き続き第2部では、同町出身の落語家「山遊亭 金太郎 師匠」による記念講演、第3部の祝賀会では小国小学校6年生による花笠音頭の歓迎もあり、和やかな雰囲気の中で節目を迎えることができました。

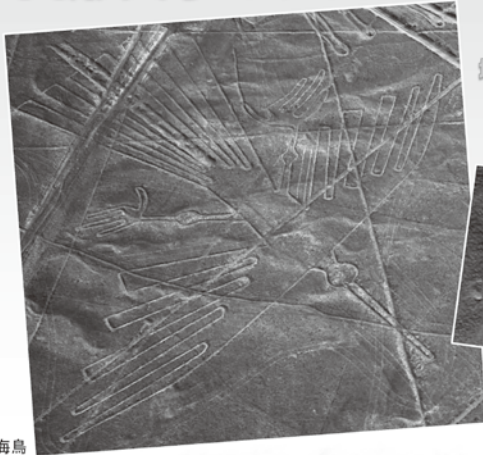
これまでの歴史を重んじ、すべての人に感謝し、地域に根差した活動に取り組んでまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 地区大会記念講演

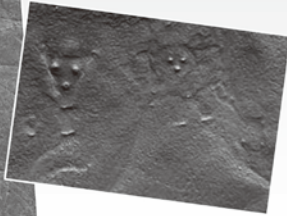
—公開シンポジウム—

### 山形大学のナスカの地上絵研究

### 地上絵の実態とその魅力



地上絵研究の  
現在と未来が  
ここに語られる!!



2013年4月12日  
山形大学プロジェクトチームが発表

海鳥

世界で唯一現地調査を実施している  
山形大学プロジェクトチームが  
その成果を公開する

- ナスカでの実習と生活：山形大学生の報告
- ナスカのミイラ調査
- ナスカの地上絵と環境地理学
- ナスカの地上絵に関する考古学的研究
- ナスカの地上絵に関する心理学・情報科学的研究



District Governor

**2800**  
2013-2014

国際ロータリー第2800地区

## 2013-2014 地区大会 記念講演 (一般公開・入場無料)

開催日時：2013年11月10日(日) PM1:00開場 PM1:30～PM3:30講演

開催場所：天童市市民文化会館

### —地区大会日程—

【1日目】2013年11月9日(土)

- 10:30 地区大会委員会
- 11:45 RI 会長代理を囲む昼食会
- 13:30 第1回 本会議  
会長・幹事・地区委員長会議  
指導者育成セミナー
- 17:30 RI 会長代理歓迎晩餐会

【2日目】2013年11月10日(日)

- 9:30 第2回 本会議
- 13:30 記念講演  
「山形大学の  
ナスカの地上絵研究」
- 15:50 第3回 本会議
- 18:00 会員懇親の夕べ大懇親会



2013-2014

国際ロータリーテーマ  
RI 会長 ロン D. パートン

## 国際ロータリー会長代理プロフィール



2011-2014年  
ゾーン10セクションB  
ロータリーコーディネーター(RC)

**謝炎盛**

(Yen-Shen Hsieh シェ・イエン・ション)

1950年9月26日生

妻 朱崇鸚 (Catherine キャサリン)

### 略歴

- 学歴 オーストラリア、サザンクイーンズランド大学  
経営学修士号  
台湾、中原大学 工業工程系  
(Industrial Engineering) 学士号
- 職歴 F.C.H Investment Corp. 取締役会長  
Unimicron Technology Corp. 取締役  
Excelsior Healthcare Group Co.,Ltd. 取締役  
YUFO Electronics Co.,Ltd. 社外取締役

### ロータリー歴

- 1997-1998年 台北城中ロータリークラブ会長
- 2009-2010年 第3480地区ガバナー
- 2010-2012年 10Bゾーン 恒久基金委員会
- 2011-2012年 RI会長代理 第3780地区  
(オーストラリア)
- 2011-2012年 国際協議会トレーニング・リーダー
- 2011-2013年 Reach Out to Africa  
(アフリカ支援) 委員会メンバー
- 2012-2013年 RI会長代理 第3780地区  
(フィリピン)
- 2013年 リスボン国際大会信任状委員会メンバー
- 2013年 10Bゾーン 理事指名委員会召集者
- 2011-2014年 10Bゾーン ロータリーコーディネーター
- 2014年 2014 Kota Kinabalu (マレーシア)  
ロータリー研究会副委員長
- 受賞歴 2009-2010年 職業奉仕リーダーシップ賞
- 2009-2010年 ロータリーセンター平和推進地区  
財団功労表彰状 (CMS)
- 2012-2013年 アーチC.クランフ・ソサエティ メンバー  
寄付総額USD 651,500



## ガバナー公式訪問

### 鶴岡西ロータリークラブ

会長 松森 昌康

8月5日(月)に新関ガバナー、志田地区幹事、恩田ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問例会が行われました。例会前に会長、幹事、次年度会長・幹事との面談があり今年度の当クラブの運営方針を説明させていただき、新関ガバナーからは適切なお指導をいただきました。

公式訪問例会におきましては、終始なごやかなムードで進められ、本年度2800地区の基本的な運営方針をお聞かせいただき、また地区組織変更を5大奉仕を中心に、3つの方向別奉仕グループと財団管理に変更した旨の説明を受けました。また他クラブへの積極的なメイクアップをして知り合いの輪を広げて欲しいと熱い言葉もいただきました。

次年度当クラブは、池田徳博ガバナー輩出と同時に創立50周年記念事業という大きな動きがあります。皆様のお力を持って肅々と大成させていく所存でありますので何卒宜しくお願い申し上げます。



### 鶴岡ロータリークラブ

会長 嶺岸 禮三

8月6日(火)の公式訪問前日は、第2ブロック主催の「新関ガバナー歓迎会」があり、翌日は9時から「鶴岡市長表敬訪問」、そして会長幹事会、公式訪問例会と実に目まぐるしい中、当クラブに対し指導助言を頂きました。

市長訪問時、新関ガバナーの奥様は、鶴岡の老舗呉服店が生家であることが告げられ、鶴岡とは縁が深いという事で話がだいに弾みました。

会長幹事会では、特に会員増強と鶴岡に避難している福島、宮城の方々への支援を考えてほしいという要請がありました。これは、当クラブ今年度の重点活動事項であるのでクリアしたいと思っています。特に当地へ移住してこられているの方々には鶴岡4クラブ合同で対応できるようにしたいと思います。新関ガバナーありがとうございました。



### 白鷹ロータリークラブ

会長 今野 正明

8月8日(木)新関ガバナー、横澤ガバナー補佐、志田地区幹事をお迎えし公式訪問が行われ、会長幹事会ではガバナーとの情報交換を寛いだ雰囲気でお進め頂きました。会員増強について我がクラブでは、次年度50周年の記念行事があり、何とか25名まで増強を目標に一人1名をと現在努力中であります。女性会員は主婦でも又ご夫婦でも入会可能とご指導を頂き大変参考になりました。

会報の件ではメールでの送信でも、必要な会員にはペーパーでも良いとのご指摘で、会報委員会も少しは楽になるのかと嬉しく感じました。

例会には重点目標として奉仕プログラムの活性化、東日本大震災復興支援、小規模クラブの運営について、メイクアップの推進についてご指導を賜りました。

これから各会員で行動を進めてまいります。ご指導を感謝申し上げます。



### 米沢中央ロータリークラブ

幹事 佐藤 清一

8月9日(金)新関ガバナー、秋葉ガバナー補佐、志田地区幹事をお迎えして公式訪問が行われました。

午前の「会長・幹事会」では、当クラブの活動計画等についてなごやかに意見交換が行われました。当クラブの仁科会長の「あ～来て良かった～」と思ってもらえるような活動をしたい、「ロータリーは楽しく」を基本にとい

う方針に、ガバナーからは理解と激励をいただきました。

また、昼からの例会でのガバナー卓話では、ロータリーの組織、活動について①内向け「クラブ奉仕」②外向け「地域奉仕」③若者向け「新世代奉仕」に分けられる。それぞれのグループにまとめてセミナーをするようにした。ロータリーの会員には義務がある。①会費を払うこと。②出席をすること。③ロータリーの友を購読すること。また、新地区補助金の活用、震災復興についても話されました。

むずかしいと思っていた話を端的にわかりやすく話され、大変参考になりました。

## クラブ会員数 / 出席率

ブロック	No	クラブ名	2013.7.1		2013.8.31		年初からの増減数		8月出席率	累計出席率
			会員数	女性会員数	会員数	女性会員数	増	減		
第1ブロック	1	酒田	38	(3)	38	(3)	0	0	71.05	66.58
	2	酒田東	33	(3)	33	(3)	0	0	92.00	96.00
	3	遊佐	12	(0)	12	(0)	0	0	94.43	96.18
	4	酒田中央	38	(0)	38	(0)	0	0	85.23	86.05
	5	酒田スワン	16	(6)	16	(6)	0	0	93.75	93.13
	6	酒田湊	15	(3)	15	(3)	0	0	91.11	92.22
第2ブロック	7	鶴岡	40	(5)	40	(5)	0	0	72.30	77.37
	8	鶴岡西	33	(4)	33	(4)	0	0	82.80	85.39
	9	余目	27	(0)	26	(0)	0	1	67.65	83.43
	10	立川	16	(0)	16	(0)	0	0	85.94	85.16
	11	鶴岡東	33	(1)	33	(1)	0	0	83.53	85.27
	12	鶴岡南	23	(4)	24	(4)	1	0	77.08	78.54
第3ブロック	13	天童	41	(3)	42	(3)	1	0	84.72	89.70
	14	東根	29	(0)	29	(0)	0	0	85.00	86.50
	15	天童東	49	(0)	50	(0)	1	0	86.11	87.33
	16	天童西	19	(0)	21	(1)	2	0	94.05	93.46
	17	東根中央	37	(1)	38	(1)	1	0	81.00	83.92
	18	村山	13	(0)	13	(0)	0	0	94.23	96.35
	19	新庄	17	(2)	18	(2)	1	0	81.94	82.64
	20	尾花沢	18	(0)	18	(0)	0	0	79.25	76.98
	21	最上	21	(1)	22	(1)	1	0	50.00	54.21
	22	尾花沢中央	15	(0)	14	(0)	0	1	100.00	94.00
	23	村山ローズ	22	(5)	22	(5)	0	0	71.20	74.80
	24	新庄あじさい	17	(0)	17	(0)	0	0	78.43	79.41
第4ブロック	25	寒河江	50	(0)	49	(0)	0	1	88.81	90.60
	26	大江	21	(2)	21	(2)	0	0	96.82	94.25
	27	河北	30	(0)	30	(0)	0	0	93.00	94.00
	28	寒河江さくらんぼ	38	(3)	38	(3)	0	0	86.45	89.71
	29	西川月山	17	(1)	19	(1)	2	0	71.23	77.93
第5ブロック	30	山形	90	(0)	93	(0)	3	0	98.70	98.73
	31	山形北	67	(0)	66	(0)	0	1	99.13	97.68
	32	山辺	21	(0)	22	(0)	1	0	96.83	97.47
	33	山形南	51	(2)	53	(2)	2	0	100.00	100.00
	34	中山	16	(0)	16	(0)	0	0	79.69	78.91
	35	山形西	93	(0)	96	(0)	3	0	91.95	91.55
	36	上山	11	(0)	11	(0)	1	1	93.93	91.28
	37	山形東	35	(0)	36	(0)	2	1	91.39	93.17
	38	山形中央	39	(3)	40	(3)	1	0	88.33	83.86
	39	山形イブニング	30	(1)	31	(1)	1	0	89.66	90.03
第6ブロック	40	米沢	53	(7)	56	(7)	3	0	90.63	88.24
	41	米沢上杉	50	(2)	51	(2)	1	0	96.08	96.79
	42	高畠	50	(3)	50	(3)	0	0	77.00	75.00
	43	米沢中央	33	(4)	35	(4)	2	0	97.14	97.86
	44	米沢おしょうしな	27	(1)	27	(1)	0	0	85.19	83.34
	45	長井	30	(1)	32	(1)	2	0	67.71	70.08
	46	南陽	18	(4)	18	(4)	0	0	100.00	97.90
	47	白鷹	17	(0)	17	(0)	0	0	94.10	94.11
	48	小国	17	(0)	17	(0)	0	0	100.00	100.00
	49	南陽東	38	(1)	38	(1)	0	0	70.17	76.40
	50	長井中央	21	(1)	21	(1)	0	0	90.40	89.70
	51	南陽臨雲	27	(1)	27	(1)	0	0	70.37	66.67
合計			1612	78	1638	79	32	6	86.03	86.86

## 米山功労者



**安孫子 貞夫**  
第33回米山功労者  
メジャードナー  
寒河江ロータリークラブ

## ポールハリスフェロー



**新田 泰弘**  
白鷹ロータリークラブ

※写真未到着のため、M・P・H・F（7月～8月）、米山功労者（7月～8月）は次号紹介いたします。

## 新入会員の紹介



**平田 勝越**  
所属クラブ：米沢上杉RC  
職業分類：農業  
入会月：H25年8月



**齋藤 幸一**  
所属クラブ：白鷹RC  
職業分類：法面保護工事業  
入会月：H25年7月



**衣袋 志郎**  
所属クラブ：白鷹RC  
職業分類：総合建設業  
入会月：H25年7月

## ご逝去 謹んでお悔やみ申し上げます



**淀川 泰正氏**  
米沢ロータリークラブ  
2013.7.1 享年63歳



**遠藤 章作氏**  
米沢ロータリークラブ  
2013.8.16 享年69歳

## 文庫通信 (312号)

### 講演より

- ◎「日本人が知るべき、日本人の精神・美しさ・誇りとは…」 竹田恒泰 2013 6p (D.2600地区大会報告書)
- ◎「チーム力」 柿本倫明 2013 5p (D.2600中信第二グループIM報告書)
- ◎「"超"ものづくりへの挑戦ーこれからの100年をデザインする」 奥山清行 2012 27p (D.2550地区大会記念誌)
- ◎「動物と人 共に生きる」 伊藤年一 2012 7p (D.2750インターアクト年次大会報告書)
- ◎「思いやりの気持ちが平和をつくる」 紺野美沙子 2013 2p (D.2760地区大会記録誌)
- ◎「進化するX線技術と社会へのインパクト」 村松康司 [2013] 2p (D.2680西播第2グループIMReport)
- ◎「私の登った外国の山々」 渡辺玉枝 2013 4p (米山梅吉記念館館報21号)
- ◎「『荒城の月』原曲」 岡村 健 2012 4p (福岡南R. C.会報)
- ◎「『故郷：ふるさと』～柳の下のどじょう?」 岡村 健 2012 6p (福岡南R. C.会報)

[上記申込先：ロータリー文庫]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

# 10月の地区スケジュール ROTARY CALENDAR

日曜日	主要行事	【公式訪問】
10/1 火		【山形南】
2 水		【尾花沢中央】
3 木		【酒田東】
4 金		【酒田中央】
5 土	ガバナーエレクト事務所開所式(※)	
6 日		
7 月		【山形西】
8 火		【山辺】
9 水		
10 木		
11 金		
12 土		
13 日	南陽RC50周年	
14 月	(体育の日)	
15 火		【寒河江さくらんぼ】
16 水		【西川月山】
17 木		【新庄あじさい】
18 金		
19 土		
20 日		
21 月		【天童西】

日曜日	主要行事	【公式訪問】
22 火		【最上】
23 水		【天童東】
24 木		
25 金		
26 土	第6ブロック IM	
27 日		
28 月		
29 火		
30 水		
31 木		
11/1 金		
2 土	第1回地区チーム研修セミナー(※)	
3 日	(文化の日)	
4 月	(振替休日)	
5 火		
6 水		
7 木		
8 金		
9 土	地区大会	
10 日		地区大会

(※)…池田年度事業



天童市将棋資料館

全国の将棋駒の95%を製造する将棋のまち天童。駅ビルの1階に「天童将棋資料館」がある。将棋のルーツや駒の歴史の紹介。江戸時代の駒92枚を使う「中将棋」も並ぶ。



国際ロータリー第2800地区

2013 - 2014年度

ガバナー 新関 彌一郎

ガバナー事務所

〒994-0026 山形県天童市東本町一丁目9-20

TEL.023-687-0208 FAX.023-687-0209

E-mail ri2800@muse.ocn.ne.jp

## 【今月の表紙】 家族

私の小さい頃はこういった大家族が多く見られた。夕方には家々から立ち上がる煙の臭いがして、賑やかな家族の笑い声が聞こえた。囲炉裏の傍に皆が集まり、御膳で夕飯を食べた頃が懐かしい。

築300年以上経過している古民家は、天童東ロータリークラブ山口会員所有。人形は天童市出身創作人形作家である大滝博子さんの作品。

【写真撮影】天童西ロータリークラブ 西尾 秀男

天童市二子沢にて撮影 時間/16:58 ニコンD-300

【写真協力】天童商工会議所